【事務事業調書】

事務事業名	自給飼料生産振興事業費			予算科目コード	会計－款－項－目－事業 001－060104－01－01－0
担当部課	建設産業部　産業課	担　当	営農支援	事業の分類	既存事業
		サブリーダー	鈴木　久雄		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します（実施しました）か？	どのような成果が現れます（現れました）か？
計画	畜産農家関連団体の栽培研修会や現地検討会の開催及び補助事業の導入による自給飼料に関する意向調査を行い、生産組織等の設立に向けての推進活動を行い自給飼料の品質及び収量増を図るため事業を18年から20年まで施設整備事業を行いました。今後は、輸入飼料の高騰により、より多くの自給飼料生産が必要でありますので、農家の意向を踏まえつつ転作田を利用しての飼料生産体制を、水田協議会と連携を密にして確立いたします。	近年、飼料や乾燥草の値上がりに歯止めのかからない状況の中、畜産農家の飼料自給率の向上となり経費の削減に大きくつながります。さらに、休耕田を有効活用することにより遊休農地削減対策となります。
実績	畜産農家に提供するための、飼料用稲を栽培に専用機械が必要であるため、共同利用機械（稲醗酵粗飼料用ロールベイラー、ラッピングマシーン、積込機）をJAが導入しました。	生産調整水田の有効活用と飼料需給率の向上が図られ、飼料用稲を作付けし、高品質かつ生産性の向上が図られる条件の整備が整えられました。

■活動指標

指　標	目　標　値	達　成　値	特　記　事　項
飼料用稲の栽培	20ha	16ha	飼料用稲の栽培については、収穫期に専用の機械が必要であり、かつ、利用者（購入者）を確保してからの栽培開始となるので、仕組みづくりを然密に行う必要があります。

■事業費（計画）

	細　節	金　額
1	補助金	5,600,000
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
		5,600,000

■事業費（当初予算）

	細　節	金　額
1	補助金	5,600,000
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
		5,600,000

■事業費（実績）

	細　節	金　額	特　記　事　項
1	補助金	5,358,000	共同利用機械の導入補助(国庫事業)　稲醗酵粗飼料用ﾛｰﾙﾍﾞｰﾗｰ1台　ﾗｯﾋﾟﾝｸﾞﾏｼｰﾝ1台　積込機1台
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		5,358,000	

■事業経費

		計　画	実　績	特　記　事　項
予算	当初予算額		5,600,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		5,600,000	
決　算	決算額		5,358,000	
財源	国庫支出金			
	県支出金		5,358,000	
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	5,358,000	
	差引（一般財源）	5,600,000	0	